

# 高金利先進国債券ファンド 2015-09 (早期償還機能付)

## <愛称 ダブルス 2015-09>

単位型投信／海外／債券

### 交付運用報告書

第9期(決算日2020年4月10日)

作成対象期間(2019年10月11日～2020年4月10日)

第9期末(2020年4月10日)	
基準価額	8,951円
純資産総額	1,207百万円
第9期	
騰落率	△ 0.6%
分配金(税込み)合計	40円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「高金利先進国債券ファンド 2015-09 (早期償還機能付)」は、2020年4月10日に第9期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、世界の主要先進国(OECD加盟国)のうち、信用力が高く、相対的に金利が高い国の国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などに実質的に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<972622>

### 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

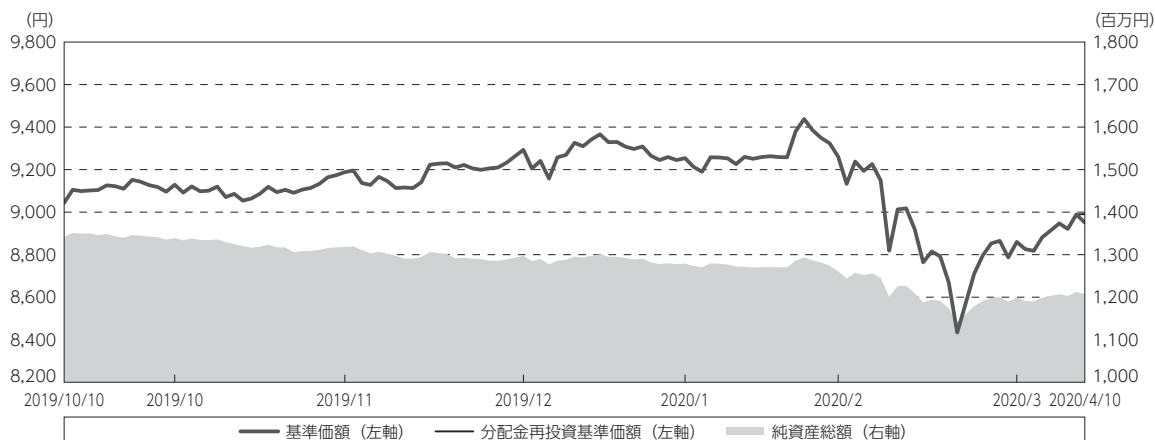
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2019年10月11日～2020年4月10日)



期 首：9,044円

期 末：8,951円 (既払分配金(税込み)：40円)

騰落率：△ 0.6% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2019年10月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、世界の主要先進国(OECD加盟国)のうち、信用力が高く、相対的に金利が高い国の国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などに実質的に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・投資債券からインカム収入を得たこと。
- ・投資対象国の国債利回りが期間の初めと比べて低下(債券価格は上昇)したこと(アメリカ国債、カナダ国債、ノルウェー国債)。
- ・アメリカドルが対円で上昇したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・投資対象国の通貨(ノルウェークローネ、ニュージーランドドル、カナダドル)が対円で下落したこと。

## 1 万口当たりの費用明細

(2019年10月11日～2020年4月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	62	0.682	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(30)	(0.330)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(30)	(0.330)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
( 受 託 会 社 )	( 2 )	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.057	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 1 )	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 4 )	(0.048)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	67	0.739	
期中の平均基準価額は、9,164円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

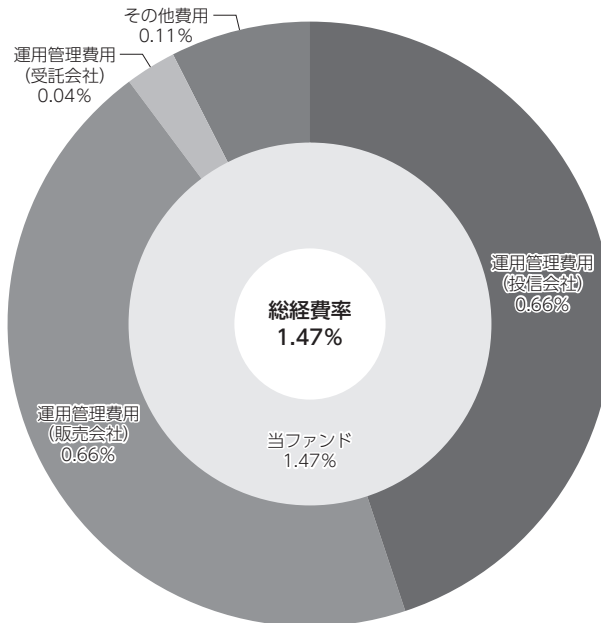
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

**(参考情報)****○総経費率**

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.47%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

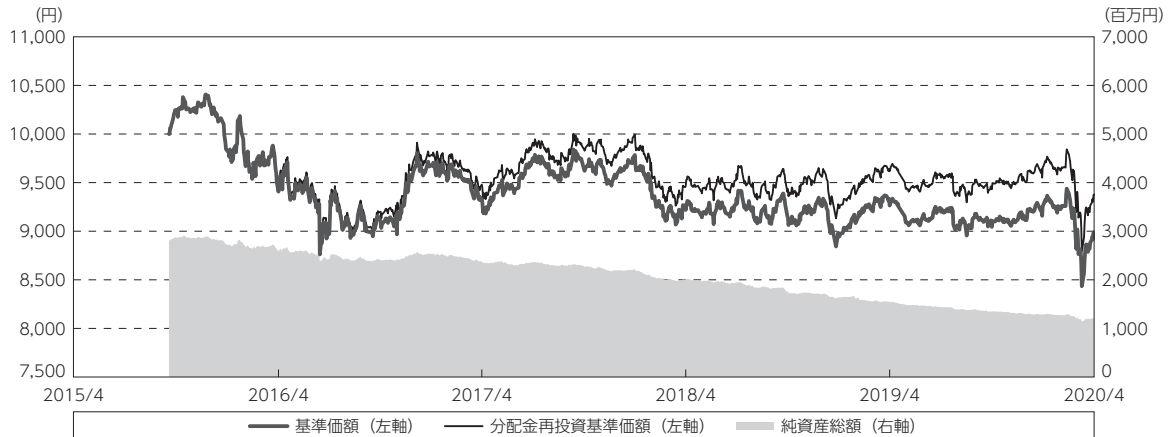
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年4月10日～2020年4月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。
- (注) 当ファンドの設定日は2015年9月29日です。

	2015年9月29日 設定日	2016年4月11日 決算日	2017年4月10日 決算日	2018年4月10日 決算日	2019年4月10日 決算日	2020年4月10日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,407	9,328	9,218	9,264	8,951
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	50	100	100	100	80
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 5.4	0.2	△ 0.1	1.6	△ 2.5
純資産総額 (百万円)	2,804	2,591	2,376	1,997	1,536	1,207

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2016年4月11日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 投資環境

(2019年10月11日～2020年4月10日)

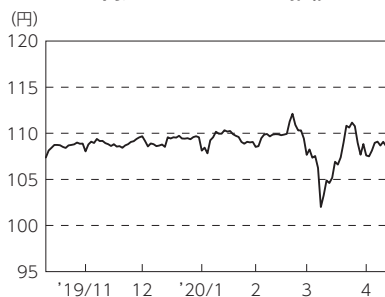
## (債券市況)

当ファンドの投資対象国の債券市場では、10年国債利回りが期間の初めと比べて総じて低下しました。2019年を通じて、地政学的環境に関するリスク（長期化する香港の抗議デモ、英国の合意なき欧州連合離脱リスクの高まり、継続中の米中貿易を巡る緊張）が見直され、経済活動が鈍化傾向となりインフレ期待が後退を続けるなか、債券市場は世界的に大幅に上昇しました。2019年の終盤には、「第1段階」の米中貿易協定や経済指標が後押しとなり、市場センチメントは世界的に大きく改善しました。これを受けて債券市場は小幅に下落し、高ベータな通貨は上昇しました。しかし、中国の湖北省で新型コロナウイルス（COVID-19）が急速に流行し、世界のリスクセンチメントの重しとなり始めたことから、市場の高揚感はありませんでした。数週間が経つにつれて、新型コロナウイルスの流行は中国以外でも拡大を続け、2020年の初めにはパンデミック（世界的な大流行）に発展しました。投資家の間では資金の安全な逃避先を求める動きが強まったことから、ボラティリティ（変動性）が急上昇しました。大半の経済大国はこれまで厳格な封じ込め措置をとってきており、世界の経済活動には確実に打撃となることが見込まれます。経済成長の鈍化を軽減するために、大半の主要中央銀行は自国の財務省とともに企業や家計のための大規模な支援を発表するなど金融環境を緩和して、迅速に対応しました。しかし、サービス業を中心として大半の企業が一時的とはいえ実質的に事業を停止していることから、直近のデータでは失業率が急上昇する可能性が示され始めています。

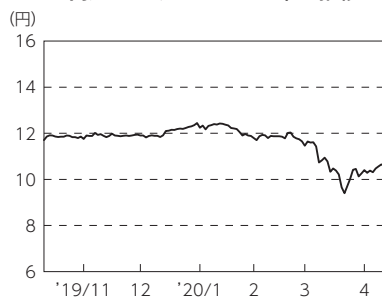
## (為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

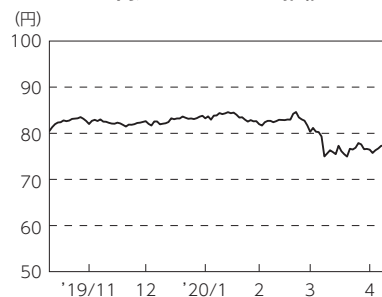
円／アメリカドルの推移



円／ノルウェークローネの推移



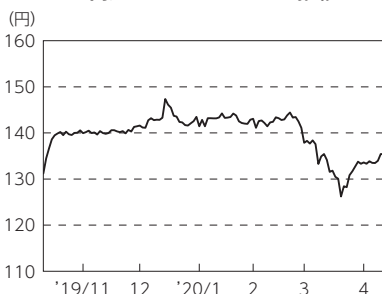
円／カナダドルの推移



円／ニュージーランドドルの推移



円／イギリスポンドの推移



**当ファンドのポートフォリオ**

(2019年10月11日～2020年4月10日)

**(当ファンド)**

当ファンドは、「高金利先進国債券マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

**(高金利先進国債券マザーファンド)**

期間中、投資対象国（通貨ベース）のうち、オーストラリアからイギリスへの入れ替えを行ないました。オーストラリアの債券市場の大幅な上昇を受けて、為替キャリートレードによるリスクプレミアムがほとんど見受けられないことから、長い間維持してきたオーストラリアドル建て債券への配分を解消しました。一方、イギリスでは下院でボリス・ジョンソン首相による欧州連合の離脱協定案が可決されたことを受けて、無秩序な離脱に関する不透明感が後退しました。当ファンドの見方では、これによってイギリスポンドが相対的に上昇する可能性があり、パフォーマンスの追い風になると見られたことから、通貨の相対的に好調なパフォーマンスを見込んでイギリスポンド建て債券への入れ替えを決めました。期間末時点における投資国（通貨ベース）は、アメリカ、ノルウェー、カナダ、ニュージーランド、イギリスの5カ国としました。

ポートフォリオ全体のデュレーション（金利感応度）に関しては、国ごとのデュレーションを調整し、リターンを最大化に努めました。2019年第4四半期は、「第1段階」の米中貿易協定や経済指標が後押しとなり市場センチメントが世界的に回復し、金利の上昇が見込まれたことから、当ファンドではポートフォリオ全体のデュレーションを総じてやや短めとすることをめざしました。その後、新型コロナウイルスが急速に流行し、世界的なパンデミックに発展する可能性が明らかになると、経済活動には大きな重しとなり、世界の金利に下方圧力がかかることから、2020年の序盤に（米国とカナダを中心として）デュレーションを長期化しました。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2019年10月11日～2020年4月10日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

**分配金**

(2019年10月11日～2020年4月10日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**○分配金**

1万口当たり分配金(税込み)	40円
----------------	-----

## 今後の運用方針

### (当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「高金利先進国債券マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

### (高金利先進国債券マザーファンド)

原則として、各国の金利水準、信用力、財政状況などのファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を考慮して投資を行なう方針です。債券市況、為替市況、各国のファンダメンタルズなどの変化にあわせて、投資比率ならびに投資対象国（通貨ベース）およびポートフォリオのデュレーションの変更などを柔軟に検討する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## お知らせ

2019年10月11日から2020年4月10日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

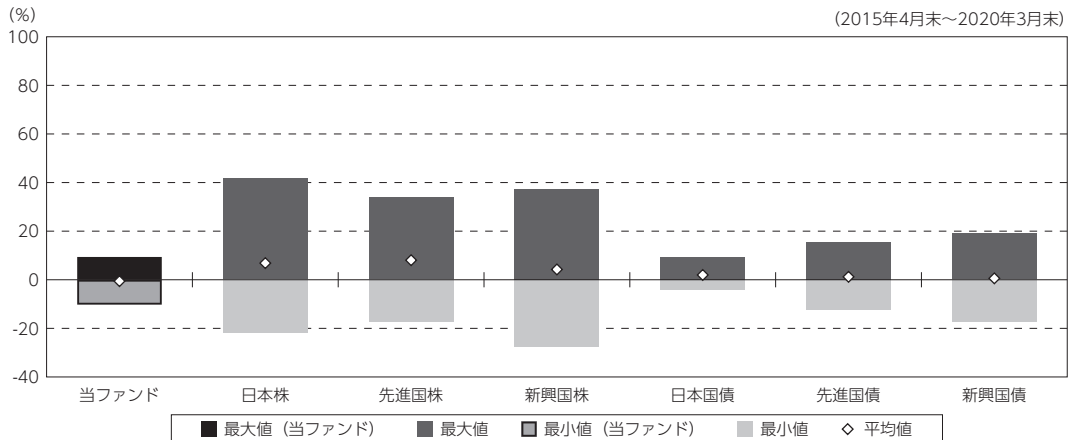
## 当ファンドの概要

商品分類	単位型投信／海外／債券	
信託期間	2015年9月29日から2021年10月12日までです。	
運用方針	主として「高金利先進国債券マザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	高金利先進国債券ファンド 2015-09 (早期償還機能付)	「高金利先進国債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	高金利先進国債券 マザーファンド	世界の主要先進国（OECD加盟国）の国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などを主要投資対象とします。
運用方法	主として、世界の主要先進国（OECD加盟国）のうち、信用力が高く、相対的に金利が高い国の国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などに実質的に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。投資国については、適宜見直しを行ないます。原則として、為替ヘッジは行ないません。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	9.4	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	△ 10.2	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	△ 0.6	6.8	8.0	4.2	2.0	1.2	0.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年4月から2020年3月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2016年9月以降の年間騰落率を用いております。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバースィファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2020年4月10日現在)

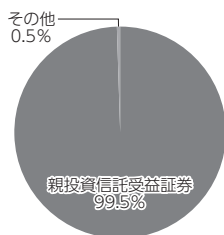
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第9期末
高金利先進国債券マザーファンド	99.5%
組入銘柄数	1銘柄

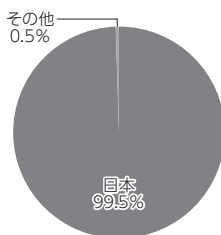
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

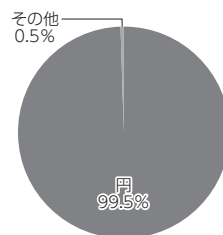
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

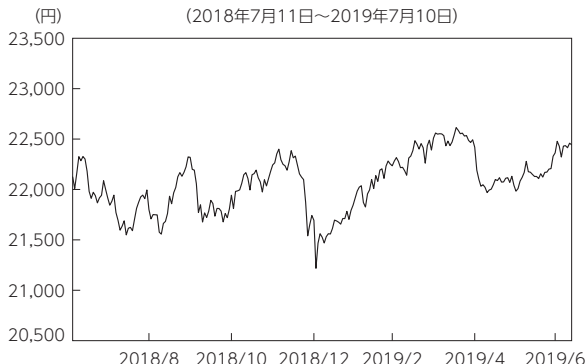
項目	第9期末
	2020年4月10日
純資産総額	1,207,327,690円
受益権総口数	1,348,745,312口
1万口当たり基準価額	8,951円

(注) 期中における解約元本額は134,808,313円です。

組入上位ファンドの概要

高金利先進国債券マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年7月11日～2019年7月10日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 ( 保管費用 ) ( その他 )	3 (3) (0)	0.014 (0.014) (0.000)
合計	3	0.014

期中の平均基準価額は、22,106円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2019年7月10日現在)

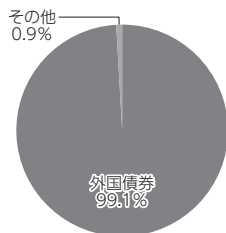
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 US TREASURY N/B 1.625% 2020/3/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	7.1
2 US TREASURY N/B 2.25% 2020/3/31	国債証券	アメリカドル	アメリカ	6.7
3 NORWEGIAN GOVERNMENT 2% 2023/5/24	国債証券	ノルウェークロネ	ノルウェー	3.4
4 NEW ZEALAND GOVERNMENT 3.5% 2033/4/14	国債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	3.1
5 KOMMUNALBANKEN AS 1.5% 2022/4/19	特殊債券	ノルウェークロネ	ノルウェー	2.8
6 US TREASURY N/B 3% 2048/8/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	2.6
7 TSY INFL 1X N/B 0.125% 2022/4/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	2.4
8 NORWEGIAN GOVERNMENT 2% 2028/4/26	国債証券	ノルウェークロネ	ノルウェー	2.4
9 INTL FINANCE CORP 3.625% 2020/5/20	特殊債券	ニュージーランドドル	国際機関	2.2
10 NORWEGIAN GOVERNMENT 1.75% 2027/2/17	国債証券	ノルウェークロネ	ノルウェー	2.2
組入銘柄数		80銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

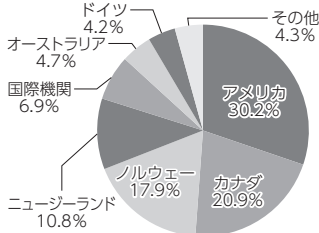
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

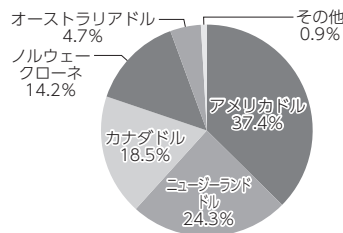
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。